

戦評  
大会名  
日時  
会場

平成24年度高校総体埼玉県予選  
平成24年6月23日 第3試合  
深谷市総合体育館

レフリー 山崎  
アンパイア 竹沢

		14	—	25		
昌平	47	4	—	13	72	埼玉栄
		7	—	17		
		12	—	17		

1Q 両チームハーフコートマンツーマン。お互い厳しいディフェンスでおもうように得点できないが、昌平は#9の3P、#4のドライブで得点。埼玉栄は#5のインサイドと#7のジャンプシュートで流れをつくる。昌平は#5のアシストでオフェンスのリズムが良く12:9とリードするが、頑張るディフェンスがファールとなり残り7分で4ファールで厳しい。残り4分で埼玉栄のプレッシャーに対して集中の糸が切れた様に昌平はパスミス連続、一気に16点を許し14:251P終了。

2Q 同じくマンツーマンディフェンスで両チーム入る。埼玉栄のプレッシャーに打たされている昌平、#5からのランジッションでアウトナンバーが出来るが決めきれないそれでも#7の頑張りで加点。埼玉栄も攻めあぐんでいたが、#4のリバウンドシュートで繋ぐ。昌平はバックドアカットでチャンスをつくるが埼玉栄#7のブロックにことごとく止められてしまう。28:38で2P終了。

3Q 後半に入り埼玉栄は#5のフリースローからリズム良く得点。18:44と引き離す。そこで昌平タイムアウト。流れを変えたい昌平だがさらに加点され1分後に再度タイムアウト、ディフェンスを2-3ゾーンに変化。埼玉栄のスピードが止まったがリバウンドがとれず変わらず昌平は苦しい。35:55で3P終了。

4Q 昌平はそのまま2-3ゾーン。埼玉栄は、それに対してスローダウンのままお互い時間は進むが得点は伸びない。残り2分埼玉栄はフレッシュのメンバーを送り出しゲームはハイペースな展開。昌平もオールコートでプレッシャーをかけるが届かず、47:72で埼玉栄の勝利。4年連続全国総体の出場となる。

記録 坂本正弘